

「今週中にも…」底突く試薬

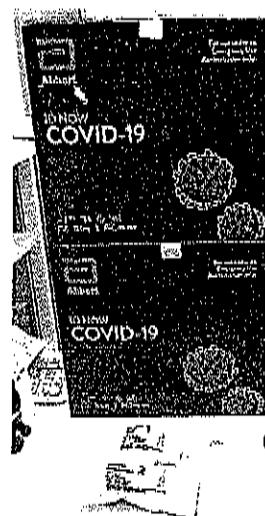
新型コロナウイルス感染者の急増を受けて、医療現場からは「検査に必要な試薬やキットが足りない」と悲鳴が上がっている。政府は、感染者の濃厚接触者に発熱などの症状があれば、医師が検査をせずに感染の診断を可能にする方針を新たに示したが、困惑の声が相次ぐ。

「強が切れたら前線では聞えない」。「村耳鼻咽喉科ボイスクリニック」(大阪市阿倍野区)の一村吉継院長(47)はしぶす。通常の診療とは別に、感染対策をした上で、PCR検査と同等の精度で10分程度で結果がわかる遺伝子検査をしている。1週間ほど前から、検査に必要な試薬の納品がストップ。抗原検査キットを注文したが、必要な量の半分の約50人分しか納品されなかつた。1日最大20人を検査してきたが、症状の軽い患者ら5~10人は断つているとい

う。「それでも、今週中には試薬も検査キットも尽きる見込みだ。濃厚接触者には検査なしで診断を下せるという政府の方針について、一村院長は「踏み越えてはいけない一線を踏み越えざるを得ないのか」と嘆く。25日前に診察した3人の小学生に陽性診断をしたが、今後はその家族に検査なしで診断をしなければいけないのだろうか?

「正しい診断ができるのはストレスで心苦しい。感染者の実数はさらにわからなくなるのではない」。感染者の実数はさらにわからなくなるのではないか」と危惧する。

「さの赤ちゃんこどもクリニックにある試薬と抗原検査キット。約50人分しか残っていない」という=25日、大阪市天王寺区



「さの赤ちゃんこどもクリニックにある試薬と抗原検査キット。約50人分しか残っていない」という=25日、大阪市天王寺区

検査断る現状 医師ら危惧

つていたのに、今では3日ほどかかるという。
通常の診療とは別に1日あたり20人ほどの検査をしているが、計約50人分の試薬や検査キットしか残っていらないという。佐野博之院長(49)は「今週中には底を突く」とため息を漏らす。

検査なしで診断できることで、政府方針については、「子どもはいろんな風邪で熱を出すので判断が難しい」。25日前に診察した小学生は発熱などの痛みを訴えていたが、抗原検査でもPCR検査でも陰性だった。「検査しないけれどもPCR検査でも陰性だ」と連絡があった。結果は陰性だった。

女性は「検査したい時に検査できなければ『社会を回す』というのは絵に描いた餅」と感じている。小学校ではまた感染者が確認された。25日は休校。女性も在宅勤務を続けている。

女性は「検査したい時に検査できなければ『社会を回す』というのは絵に描いた餅」と感じている。小学校ではまた感染者が確認された。25日は休校。女性も在宅勤務を続けている。

38

検査せず診断 「越えてはならぬ一線」だが

・5度の発熱でなければPCR検査はできません」。大阪市の女性会社員(41)は24日、かかりつけの小児科からの電話で、子ども2人の検査を断られた。その日の朝、小学2年の長男は平熱だったが、2人が通う小学校では連日児童と教職員の新型コロナ感染が確認され、一斉下校を繰り返している。他の発熱外来を探していると、先ほどの小児科

女性は「検査したい時に検査できなければ『社会を回す』というのは絵に描いた餅」と感じている。小学校ではまた感染者が確認された。25日は休校。女性も在宅勤務を続けている。

(狩野浩平)